



2024

7/12 (金)

16:20-18:30

日本語、英語（通訳なし）

ヴァナキュラー文化研究会講演会

グローバル時代の生きる伝統 —メキシコ先住民アーティストの実践—

Living Traditions in the Global Era: Practices of Indigenous Mexican Artists

司会

安保寛尚（立命館大学）

登壇者

鋤柄史子（神戸大学国際文化学術研究推進インスティテュート）



アルバ・ミランダ（オアハカ・ベニート・フアレス自治大学）

program

16:20 趣旨説明（安保）

16:25 メキシコにおける「先住民文学」のダイナミズム（鋤柄）

16:55 口承伝統から多様なモードのテキストへ

—現代メキシコにおける先住民の記号論のレポーター—（ミランダ）

—休憩—

18:10 質疑応答

18:30 終了

ハイブリッド開催

立命館大学衣笠キャンパス
図書館カンファレンスルーム

+
Zoom

申込み不要
オンライン参加は
こちらから>>



【主催】立命館大学国際言語文化研究所

【共催】

神戸大学国際文化学術研究推進インスティテュート
人間文化研究機構 グローバル地域研究推進事業
「東ユーラシア研究プロジェクト」国立民族学博
物館拠点



メキシコのオアハカ州には、サポテカ、ミシュテカ、ミヘなど、独自の言語や文化を持つ多くの先住民が暮らしている。今日その口承伝統は、グローバル文化の影響を受けて変容しながらも維持されている。本講演会では、公的な文化政策と交渉しながら、文学やポップ、写真、絵本など、多様なメディアを戦略的に利用する先住民アーティストの作品について分析し、そこに織り込まれた伝統の記号の解明を試みる。

